

④ 戦国武将のおもしろいかがふとい  
ついで調べてたこをまとめよう

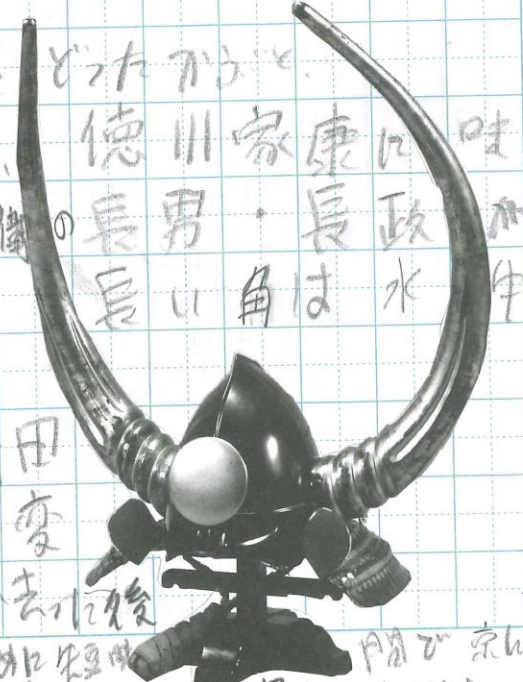
<戦場で目立つ個性的なかがふと>  
戦国武将たちがかぶっていたか  
がふとにはおもしろい形のものが

数多くあるそうです。  
なぜ個性的なかがふとをかぶって  
いるのかという点、戦いの時に  
目立つかがふとをかぶることの意味  
方に無事を知らせたり、自分の  
手加らをも主君に伝えやすくした  
りすることかできます。

個性的なかがふとはどのようなものか  
ある？>

・水牛の角をかたどったかぶと。  
関ヶ原の戦いで、徳川家康に吐  
きつけた黒田官兵衛の長男・長政か  
ぶった。2本の長い角は水牛  
の角を表す。

黒田官兵衛は、織田  
信長が本能寺の変  
で歴史の舞台から去った後



豊臣秀吉が明智光秀を討った後、関ヶ原の戦いで徳川家康が勝利し、中国大返しを提案した人です。

山鳥の羽根を使っ  
徳川家康の家臣  
板倉勝重がかぶった。  
丸い論は大陽を表れ、  
山鳥の羽根の長さは、  
90cmもある。

⑤ 板倉勝重が180cm  
あったら、180+110で  
180  
+110  
250 250cmになる。馬の上か  
ぶると思った。

⑥ 個性的なかがふと(知  
かぶとをかかぶる。かぶ  
るとかかぶる。

↓  
徳川家康かぶのかぶ  
をかぶるとして相矢と何回  
靴か、2回、目立って  
かぶったか、かぶ  
しまわうかと思つた。

